

# 防災理念



災害は怖いものだとは思っているけれど、  
どこかで「自分には起きない、自分は災害に遭わない」と思っていないですか？

人には、「たぶんだ丈夫」「自分は大丈夫」と自分に都合良く考えてしまう傾向（正常化の偏見）があります。しかし、災害はいつでもどこでも起こりうるものであり、私たちは正常化の偏見を捨てて、「災害に遭うリスクは必ずあって、被害はゼロにすることはできないものだ」と認識する必要があるのではないのでしょうか。

一方で私たちは何もできないということではなく、日頃から災害をイメージし、いかなる災害でも失ってはならないものは何なのかを意識し、**生き抜くスキル**を持つことでどんな時でも前向きに減災につなげていくことができるのです。

では、**生き抜くスキル**とは何なのでしょう？

それは… **予測情報から判断する力** と **自ら行動する力** です！

そしてこれらを高めていくには、防災を**知る**ことが必要になってきます。

そこで…  
たとえば…



- 災害の恐ろしさを知る
- 災害の特徴を知る
- 地域の特性を知る
- 過去の災害を知る
- 災害に備えるために何をしておけばよいかを知る
- 災害の時、どう行動するのかを知る などなど…

## まずは防災について「知る」ことから始めてみよう！

**もくじ**

- わが家の防災メモ ..... 1
- 防災理念／もくじ ..... 2
- 地震・津波① 地震・津波がもたらす危険について知っておこう！ ..... 3
- 地震・津波② 地震に備えて ..... 4
- 地震・津波③ 地震が起きたら!! ..... 5
- 地震・津波④ こんなときに地震に遭ったら ..... 6
- 地震・津波⑤ 幕別町に被害を及ぼす地震 ..... 7
- 風水害① 風水害がもたらす危険について知っておこう！ ..... 8 ~ 10
- 風水害② 風水害に対して何をすべきか知っておこう！ ..... 11
- 風水害③ 避難について知っておこう！ ..... 12
- 火災 火災の予防と対処のしかたについて知っておこう！ ..... 13
- 要配慮者・避難行動要支援者とは？ ..... 14
- 防災グッズを備えよう！ ..... 15
- 【行政区別】指定緊急避難場所 ..... 16 ~ 17
- 【行政区別】指定避難所 ..... 18 ~ 19
- 指定緊急避難場所一覧／指定避難所一覧 ..... 20 ~ 21
- 自主防災組織とは？／応急処置 ..... 22
- 避難所での生活 ..... 23
- 防災情報 防災に関するいろいろな情報について知っておこう！ ..... 24
- 災害時の伝言サービスを知っていますか？ ..... 24



## 地震・津波① 地震・津波がもたらす危険について知っておこう！

### 揺れの大きさと想定される被害

震度0	震度1	震度2	震度3	震度4
人は揺れを感じない。	敏感な人や、静止している人がわずかな揺れを感じる。	屋内にいる人の多くが、揺れを感じる。戸や電灯などがわずかに揺れる。	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる。家具や木々が揺れる。	かなりの恐怖感がある。花瓶などの座りの悪い置物が倒れることがある。
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
多くの人が身の安全をはかろうとする。棚にある食器類や書籍が落ち、固定していない家具が移動することがある。	多くの人が行動に支障を感じる。重い家具や自動販売機が倒れることがある。	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。壁のタイルや窓ガラスが破損・落下する。	立っていることができない。耐震性の低い木造建物は傾くものや倒れるものが増える。	自分の意思では行動できない。耐震性の高い木造建物でもまれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

### 津波警報・注意報から予想される津波の高さと想定される被害

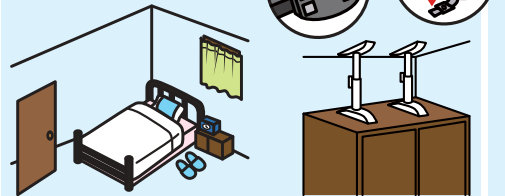
	予想される津波の高さ		想定される被害	とるべき行動
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。	海の中にいる人は、直ちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。

- 震源が陸地に近いと津波警報が津波の襲来に間に合わないことがあります。「揺れたら避難」を徹底しましょう。
- 津波は沿岸の地形などの影響により局所的に予想より高くなる場合があります。より高い場所を目指して避難しましょう。
- 地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報（若干の海面変動）」を発表します。  
(出典：気象庁)

身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止の対策をしておこう!

- 本棚・タンス、テレビ・パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をとっておく。
- けがの防止や避難に支障の無いように家具を配置しておく。



けが防止の対策をしておこう!

- 散乱物でけがをしないように、スリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。



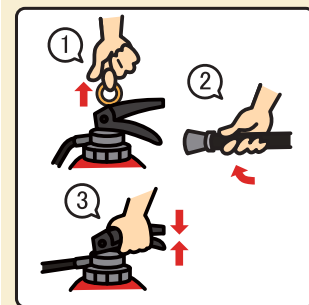
家屋や塀の強度を確認しておこう!

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ※P6「幕別町 木造戸建て住宅 無料耐震診断について」を参照
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておく。



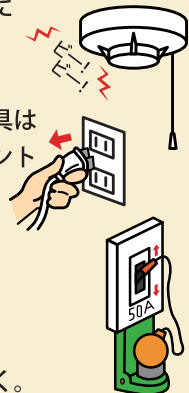
消火の備えをしておこう!

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。



火災発生の早期発見と防止対策をしておこう!

- 火災の早期発見のために住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



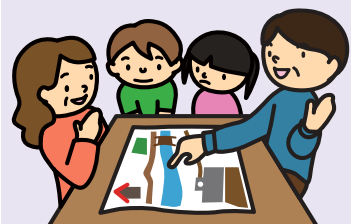
防災グッズを準備しておこう!

- 防災グッズは、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の回りにあるものの活用を考えておく。



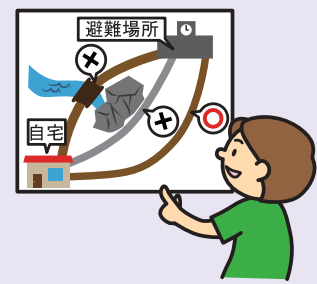
家族で話し合っておこう!

- 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段のつきあいを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう!

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の災害危険度を確認しておく。



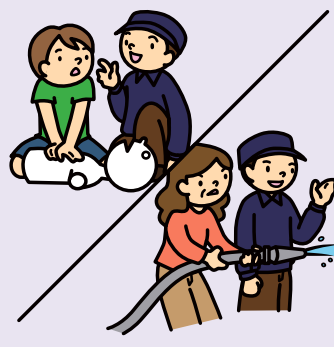
防災知識を身につけておこう!

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会などに参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を高めておこう!

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



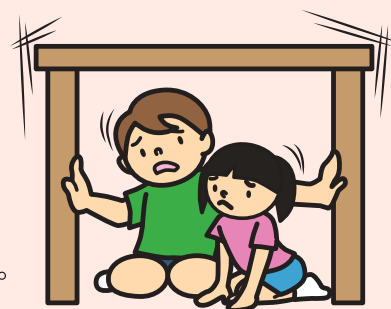
※幕別町では、防災の出前講座を実施しています。  
 「地震・風水害に備えて(防災基礎講座)」(担当:防災環境課)  
 →詳しくは…  
 幕別町ホームページ(ホーム > くらし・手続き > 地域の活動 > まちづくり出前講座)

確かな行動の備え

地震発生時の行動

地震だ! まず身の安全確保!

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。



地震直後の行動

落ち着いて火の元確認 初期消火

- 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火したときは、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまってから、避難ができるよう出口を確保する。



塀や自動販売機には近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀や自動販売機などには近寄らない。



地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



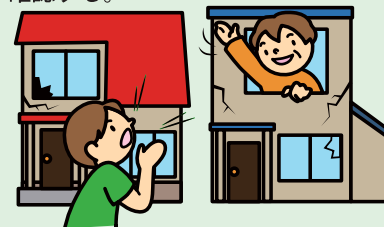
正しい情報 確かな行動

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

- 避難が必要などときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。



# シルシル 防災

## 地震・津波④

## こんなときに地震に遭ったら…

### スーパーなど

手荷物やかごなどで頭を守り、ショーケースの転倒や商品の落下、ガラスの破片などに注意する。



### エレベーター

- 乗っているときはすべての階のボタンを押し、最初に停止した階で降りる。
- 閉じ込められた場合は非常ボタンやインターホンで外部に連絡をして救助を待つ。危ないので無理矢理脱出しないようにする。

### 車の運転中

- 大地震が起こると、ハンドルをとられて運転が困難になるので、急ブレーキをかけず徐々に減速し、道路の左側に寄せて駐車する。
- カーラジオなどで地震情報や交通情報を聞いて、その情報や周囲の状況に応じて行動する。



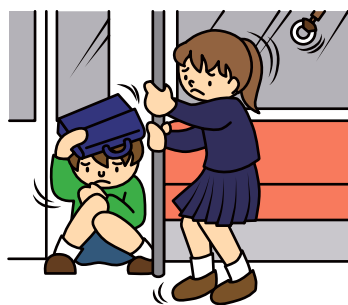
### 車から避難する場合

- 交差点を避け、道路の左側に寄せて駐車する。
- エンジンを止め、エンジンキーはつけたままにする。ドアはロックしない。窓は閉めておく。
- 貴重品は車内に残さないようにする。
- 名前、連絡先、どこに向かって避難したかを書いたメモをフロントガラスから見えるところに残しておく。



### 電車やバスの中

- 座席に座っているときは、頭部を保護して姿勢を低くする。
- 立っているときは、つり革や手すりにしっかりつかまり転倒を防止する。
- 線路内は感電したり、他の電車にひかれるおそれがあるので、乗務員の指示があるまで車外に出ないようにする。



### 路上

切れて垂れ下がっている電線は感電の危険がある。また、ガス漏れていると思われる場所や道路が液状化したり陥没しているところには絶対に近づかない。

### 山やがけの近く

山全体が大きく崩れたり、余震により土砂崩れが起きることもあるので、落石に注意し、直ちに平らで安全な場所へ避難する。

### 避難したあとは…

- 海岸や河口、山や崖の近くには絶対に様子を見に行かないようにしましょう！  
特に津波の場合は繰り返し襲ってきたり、第1波より第2波以降の方が大きな津波がくる可能性があるため、警報・注意報が解除されるまでは安全な場所にとどまろう！
- 避難場所に避難しても、より安全な場所へ避難するように心がけよう！



# シルシル 防災

## 地震・津波⑤

## 幕別町に被害を及ぼす地震

幕別町に被害を及ぼす地震は主に、陸域の浅い場所で発生する地震（内陸型地震）と、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生する地震（海溝型地震）です。

### 内陸型地震

- 【十勝平野断層帯（主部）】
  - マグニチュード 8.0 程度
  - 今後 30 年以内の発生確率 0.1 ~ 0.2%

### 海溝型地震（千島海溝沿いの地震）

- 【超巨大地震（17世紀型）】
  - マグニチュード 8.8 以上
  - 今後 30 年以内の発生確率 7 ~ 40%
- 【十勝沖地震】
  - マグニチュード 8.0 ~ 8.6 程度
  - 今後 30 年以内の発生確率 10%程度



## 北海道・三陸沖後発地震注意情報について

日本海溝・千島海溝周辺でマグニチュード 7.0 以上の大きな地震があった場合に、周辺でさらに大きな地震が発生する可能性があることへの注意を促す「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が内閣府・気象庁から発表されます。

### 後発地震注意情報が発表されたら

- 日頃からの地震への備えを再確認し、地震発生後、特に1週間の間は、揺れを感じたらただちに避難できる態勢を整えるようにしておきましょう。
- なお、後発地震注意情報が発表されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りません。

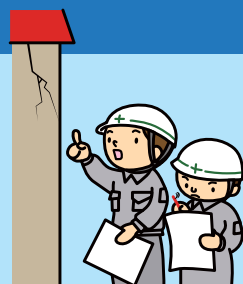
### 後発地震の発生に備えた防災対応

- 非常持出品の常時携帯
- 緊急情報の取得手段の確保
- 日頃からの備えの再確認（備蓄食品の賞味期限、家具転倒防止板）
- すぐに逃げ出せる態勢での就寝（枕元に靴などを置いて寝る）など

## 幕別町 木造戸建て住宅無料耐震診断について

### 木造戸建て住宅は無料耐震診断を受けられます！

幕別町には十勝平野断層帯主部が南北方向に縦断しており、もしこの断層を震源とする直下型地震が発生した場合、マグニチュード 8.0、最大震度 7 と本町に大きな被害をもたらすと言われており、十分警戒が必要です。また、日本海溝・千島海溝周辺の海溝型地震などの発生も迫っているといわれ、いつ大規模地震が発生しても不思議ではありません。地震の発生は食い止められませんが、『住宅の耐震化』によって被害を大幅に減らすことができます。この機会に、ぜひ、幕別町の無料耐震診断をご利用ください。



### 木造戸建て住宅無料耐震診断の 対象条件・診断方法・必要書類等の詳細については…

- 幕別町役場 都市計画課 建築係  
〒089-0692 北海道中川郡幕別町本町 130 番地 1  
電話 0155-54-6623（土日・祝日を除く平日の午前 8 時 45 分から午後 5 時 30 分）
- 幕別町ホームページ「木造戸建て住宅無料耐震診断のご案内」をご覧ください。  
(ホーム > くらし・手続き > 住宅・建築 > 耐震・リサイクル情報 > 木造戸建て住宅無料耐震診断のご案内)